



Kringle
Pharma

平成 21 年 1 月 28 日

各位

クリングルファーマ株式会社とマルホ株式会社は
皮膚潰瘍治療薬ChronSeal[®]に関するオプション契約締結に合意しました

クリングルファーマ株式会社（本社：大阪府豊中市、代表取締役：岩谷邦夫、以下「クリングルファーマ」）とマルホ株式会社（本社：大阪府大阪市、代表取締役：高木幸一、以下「マルホ」）は、クリングルファーマがノルウェーおよびスウェーデンにおいて臨床開発を進めている皮膚潰瘍治療薬 ChronSeal[®]について、オプション契約を締結する基本合意に至ったことをお知らせいたします。

ChronSeal[®]は HGF（hepatocyte growth factor：肝細胞増殖因子）組換え蛋白質を主要薬効成分とする外用製剤です。本オプション契約の締結により、クリングルファーマはマルホに対し、国内における下記の権利を付与しマルホからその対価を取得します。

- ① ChronSeal[®]の第 I / II 相臨床試験結果の優先評価権
- ② ChronSeal[®]の独占的な開発・販売許諾に関するライセンス契約の優先交渉権

当社代表取締役岩谷邦夫は、「この度、皮膚科領域で国内最大手のマルホと ChronSeal[®]のオプション契約の締結に合意できたことを大変嬉しく思います。当社は北欧における ChronSeal[®]の臨床開発を加速するため、昨年 12 月、スウェーデンに子会社 Kringle Pharma Europe AB（以下「Kringle Europe」）を設立しました。今後、Kringle Europe にて速やかに臨床試験を行い POC (proof of concept) を早期に確認できるよう努力します」と述べております。

クリングルファーマについて：

クリングルファーマは、大阪大学発創薬バイオベンチャーとして 2001 年 12 月に設立されました。大阪大学医学部の中村敏一名誉教授が発見した HGF および NK4 の医薬品開発を通じ、新規のバイオ医薬品の開発に注力しています。現在 HGF 組換え蛋白質を 1)急性腎不全、2)皮膚潰瘍、3)難治性神経疾患の治療薬として、また NK4 組換え蛋白質と NK4 遺伝子を新規制癌剤として医薬品開発を進めています。より詳細な情報は、当社ウェブサイト（www.kringle-pharma.com）をご覧ください。

マルホについて：

マルホ株式会社は、人類の健康に対して、質の高い貢献を行うことを企業使命に掲げ、主に皮膚科学関連領域に特化し、研究開発、製造販売する医療用医薬品メーカーです。

本社所在地：大阪府大阪市北区

代表取締役社長：高木幸一

売上高：476 億 9000 万円(平成 20 年 9 月期)

ウェブサイト：www.maruho.co.jp



Kringle
Pharma

問合せ先：

下條智也

クリングルファーマ株式会社

取締役 CFO 兼経営企画本部長

電話 06-6831-3330、電子メール info@kringle-pharma.com